



## 巻頭言

図書館報「時計台」は、1971年9月に第1号（No. 1）を発刊して以来、1997年4月の第67号（No. 67）に至るまでの約30年間、大学図書館と利用者を結ぶ情報の懸橋として重要な働きを果たしてまいりました。

しかしこの間、社会における情報の伝達方式がますます電子化の傾向を強め、大学図書館におきましても徐々にその方向で新たな対応をしてまいりました。事実、1997年6月には大学図書館のホームページも開設いたしております。

この度新大学図書館の開館一年の経過をふまえて、今後、これまでの館報「時計台」とホームページを使い分け、時事性の強い記事や日常的な利用案内はホームページに掲載し、「時計台」には比較的アカデミックな図書・資料の情報やそれに関連する行事の紹介等を掲載させていただこうと存じます。

こうした方針に基づきまして今号の「時計台」には、1997年10月に新大学図書館開館記念として購入した「トマス・ホブズ著作文庫」の特別展示の紹介、これに関連して開催された学術資料講演会の紹介、そしてこの度入手した貴重図書エラスムスの『*Novum Instrumentum*』の紹介を掲載いたしました。

今後、図書館報「時計台」が、ホームページと共に利用者の皆様の研究・教育の支援メディアとして一層お役に立つことを心から念じております。

関西学院大学図書館長 丸茂 新

